

令和3年度

事業報告及び決算報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人 愛知県国際交流協会

目 次

事業報告	1
決算報告	1 3

事業報告

(公財) 愛知県国際交流協会は、国際交流を通じて県民の国際的視野を広め、本県の国際的地位の向上に供するため、県、市町村、市町国際交流協会、民間国際交流団体及び関係機関と一体となって国際交流・国際協力活動や、外国人も地域社会で安心して暮らせる多文化共生の地域づくりの推進に努めた。

事業の実施にあたっては、国際交流団体交流室、研修室、アイリスルーム、図書コーナー、新聞・雑誌コーナーなどの施設を有する「あいち国際プラザ」を有効に活用し、県民参加型の国際交流の推進を図るとともに、あいち多文化共生センターにおいて多文化ソーシャルワーカーによる多言語での相談対応や情報提供を実施した。

1 国際交流・国際協力活動の推進

(1) 国際交流イベントの開催

国際交流・国際協力・多文化共生に関する県民意識の高揚を図るため、(独)国際協力機構中部国際センター及びなごや国際交流団体協議会と協働して、国際交流イベント「ワールド・コラボ・フェスタ2021」を令和3年11月27日から令和4年1月10日の期間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、バーチャル（オンライン）で開催した。

開催期間	内 容	出展・出演団体	閲覧回数
令和3年11月27日 ～令和4年1月10日	○ワールドステージ 世界の文化や地球の現状を動画で紹介 ○コラボ広場 国際交流・協力団体の活動を動画や写真などで紹介 ○セミナー・ワークショップ 国際交流・協力、多文化共生に関するセミナーやワークショップを開催	29団体	約60,000回

※出展・出演団体にはワールド・コラボ・フェスタ主催団体を含まない。

(2) フェアトレードの普及啓発事業の実施

国際協力活動の一つであるフェアトレードを紹介し、県民が途上国の貧困や人権・環境問題など地球の課題や解決方法を知り、考え、国際協力活動へのきっかけづくりとなる講座を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

開催予定日	内容	講師	参加者数
令和3年5月12日	フェアトレード講座2021 「バナナの紙ってなあに？アフリカの人と野生動物を守り、持続可能な未来をつくる」	(株) ワンプラネット・カフェ 代表取締役社長 エクベリ聡子氏	21名

(3) 国際交流・国際協力活動の支援事業の実施

海外の学校と日本の学校で交流事業を行うことにより、相互の文化への理解を深めるとともに、若者が国際交流への関心を持つきっかけとする事業で、フランスの高校と交流をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(4) 国際貢献支援事業の実施

県内における国際協力を推進するため、国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害等の諸問題を抱えた地域を対象に、必要に応じて義援金、緊急物資などを供与する事業であるが、令和3年度は国際貢献緊急援助事業実施要領に定める、対象となる事業がなかった。

2 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 多文化ソーシャルワーカーによる相談・情報提供及び支援の充実

外国人が日本人と同じ制度やサービスを利用でき、本県で安心して暮らすことができるよう、多文化ソーシャルワーカーが日常生活に必要な情報を多言語で提供するとともに、複雑な問題を抱える相談者に対しては、関係する市町村の各種窓口や専門機関と連携しながら、問題解決に向けた自立支援までを継続的に行った。なお、相談は、日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、韓国語、ミャンマー語の12言語で対応した。

また、専門的なアドバイスが必要な問題を抱える外国人を対象に、無料の弁護士相談（ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語に対応）を実施するとともに、名古屋出入国在留管理局や愛知労働局、愛知県との連携により在留関係、労働関係、消費生活関係の専門相談（上記12言語で対応）を実施した。

【相談・情報提供等】

(単位：件)

相談言語	多文化ソーシャルワーカーによる 相談・情報提供及び支援					在留 相談	労働 相談	消費 生活 相談	弁護 士相 談	合計
	情報 提供	継続 支援	傾聴	翻訳 通訳	小計					
日本語	1,932	1	11		1,944	10	0	1	3	1,958
ポルトガル語	789	4	6	165	964	1	1	2	28	996
スペイン語	137	0	0	48	185	2	2	1	13	203
英語	158	3	0	53	214	7	0	0	5	226
中国語	54	0	0	27	81	3	1	1	12	98
フィリピン語/タガログ語	86	2	0	35	123	2	0	0	16	141
ベトナム語	78	1	0	25	104	2	1	0	3	110
ネパール語	15	0	0	8	23	0	0	0		23
インドネシア語	4	1	0	12	17	0	1	0		18
タイ語	1	0	0	8	9	0	0	0		9
韓国語	1	0	0	12	13	0	0	0		13
ミャンマー語	0	0	0	6	6	0	0	0		6
合計	3,255	12	17	399	3,683	27	6	5	80	3,801

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年5月12日から6月20日まで、及び令和3年8月27日から9月30日までの間、対面による相談を中止し、電話及びEメールでの相談対応とした。

さらに、日頃から外国人に対する相談・情報提供及び支援活動に関わる相談担当者の資質向上を図るとともに、情報交換とネットワーク作りの場を提供し、県内各地域において有益な外国人向け相談業務が行われるようにするため、外国人相談窓口及び各種専門機関等の相談員向け研修会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和3年11月5日	講演「外国人が利用できる支援制度」 講師：村上功行氏（名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山 センター長） 講演「外国人労働者の現状について」 講師：溝越太氏（愛知労働局 職業安定部職業対策課 外国人雇用対策担当官） 講演「新型コロナウイルス感染症に係わる対策及在留支援」 講師：赤星有紀氏（名古屋出入国在留管理局 審査管理部門 在留支援 統括審査官）	当日 49名 (後日動画配布44名)

また、災害発生時には当協会のあいち多文化共生センターに対する相談が集中することが予想されることから、当協会の職員を対象に外国人から寄せられる相談等を想定した実践的なシミュレーション訓練を行った。

開催日	内 容	参加者数
令和4年3月12日	災害時における外国人相談対応訓練 ・Zoomを使用した遠方との連絡訓練 ・災害時の相談対応のための相談窓口設営訓練 ・外国人からの電話相談対応訓練	9名

(2) 外国人相談担当者向け対応ハンドブックの作成

外国人がより充実した行政サービスを受けることができるようにするため、当協会に寄せられた相談事例等をもとに、外国人特有の問題やその背景となる各国事情、相談対応のポイント等を含めた相談対応冊子「相談員のための多文化ハンドブック＝社会福祉編＝上巻」を2,100部作成し、市区町村の福祉相談窓口、地域包括支援センター、社会福祉協議会、市町国際交流協会等に配布した。

(3) 多言語による外国人向け生活情報冊子の作成等

外国人の生活利便の向上を図るため、在留手続き、労働、医療・年金・福祉、教育、税金等、日本で生活する上で必要な情報を集めた冊子「愛知生活便利帳」（ポルトガル語・スペイン語・日本語併記）を900部作成し、市町村相談窓口等の関係団体に配布した。

(4) 県民の多文化共生社会づくりへの理解促進

外国人と触れ合う機会の少ない地域の日本人が楽しく異文化を知ることにより、地域に住む外国人に親近感を持ち、理解を広げることにより多文化共生の地域づくりの推進を図る講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和3年12月11日	「親子で多文化共生について考えよう！～アメリカ編～」 参加する親子がクイズやワークショップ、遊びを通して楽しく異文化を体験するとともに、多文化共生について考える機会を提供した。 講師：あいち国際理解教育ステーション代表 今枝明子氏 愛知県国際交流員 ハマテ・ユカ氏 あいち多文化共生センター 多文化ソーシャルワーカー 真栄田ミシェリ嘱託員	15名

(5) 外国人児童生徒向け日本語教室への支援*

外国人児童生徒の日本語学習環境の充実を図るため、地域のNPOなどが実施する外国人児童生徒のための日本語教室に対し、教室運営に必要な経費の一部を助成した。

事業名	実績
日本語教室学習支援事業	認定：はじめの一步教室 始め 49 団体 86 教室 延べ学習者数：8,030 名

(6) 外国人学校での日本語指導への支援※

外国人学校の外国人児童生徒に質の高い日本語学習環境を提供するため、外国人児童生徒の日本語学習に必要な日本語学習教材を整備するための費用の一部及び日本語指導者の雇用に必要な経費の一部を助成した。

事業名	実績
日本語指導者雇用助成事業	日本語指導者雇用に係る助成： エスコラ パウロ フレイレ瀬戸始め 5校
日本語学習教材給付事業	対象：4校 給付教材数：291冊

※ (5)・(6) は、企業・個人からの寄付金及び愛知県からの出せん金により造成された「日本語学習支援基金」で行った。

(7) 日本語指導員養成事業の実施

日本語ボランティア未経験者及び初心者向けに、外国人や外国人児童生徒の現状や課題、日本語ボランティアとはどのような活動なのか、またその支援内容や教え方などを学ぶ講座を開催した。

開催地	開催日	内容	参加者数
津島市	令和3年 10月9日 10月16日 10月30日	1日目 講義①「地域の外国人の現状」 講義②「地域の日本語教室とは」 活動報告「地域の大人向け日本語教室について」	延べ 53名
		2日目 講義①「地域の外国人児童生徒の現状」 講義②「子ども向け日本語教室とは」 活動報告「地域の子ども向け日本語教室について」	
		3日目 ワークショップ 「教えることを体験してみよう」 「ふりかえり～今後の活動に向けて自分にできることを考えてみよう～」	
半田市	令和3年 12月5日 12月12日 12月19日	上記津島市と同じプログラム	延べ 63名

(8) 外国人児童生徒指導関係者スキルアップ研修の開催

現在子ども向け日本語ボランティアとして活動しているボランティア及び外国人児童生徒に携わっている学校関係者を対象に、日々の活動における疑問点や悩みを解決し、役立つ知識やスキルを身に付けるためのスキルアップ研修を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

共催団体	開催日	テーマ	参加者数
東海市	令和3年9月11日	オンライン授業のコツ	35名
長久手市	令和3年10月1日	外国人児童生徒への支援	19名

(9) 外国人児童生徒及び保護者のための教育相談会の開催

外国につながりを持つ子どもとその保護者を対象に、日本で進学・就職する上で必要な教育制度や進路選択等についての情報を提供する進路説明会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

共催団体	公開期間	内 容	参加者数
新城市	令和3年8月21日	講義「日本の教育・進路について」 先輩の体験談発表	17名

3 国際化の推進役となる人材の育成

(1) 国際交流・多文化共生コーディネーター講座の開催

市町村・市町国際交流協会等の職員を対象に、地域の国際交流、国際協力活動を推進し、多文化共生社会実現の担い手となる人材育成を目的として日常業務のスキルアップを図るための講座を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和3年12月9日	講演： 「ナッジ」ってなに？～人をそっと後押しするコツ～	NPO法人Policy Garage 金子万利奈氏	44名

(2) ボランティア研修の開催

当協会及び市町村・市町国際交流協会のボランティア等に対して、ボランティア活動を行うにあたってのポルトガル語の通訳・翻訳技術を深めるための講座を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和4年2月1日 ・2月8日・15日	ポルトガル語通訳・翻訳入門講座	ポルトガル語 通訳者・翻訳者 水畑千鶴エジナ氏	延べ31名

(3) 英語勉強会の開催

当協会の登録ボランティアを対象に、英語力研鑽のための勉強会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和4年2月22日、3月22日	英語勉強会（ボランティア通訳）	延べ36名

(4) 通訳翻訳講座の開催

蒲郡市と共催で、ベトナム文化に関心を持ち、ベトナム語習得の意欲を有する方を対象に、ベトナム語入門講座を開催した。

開催予定日	内 容	講師	参加者数
令和3年11月27日、 12月11日・12月18日	ベトナム語入門講座	愛知県介護福祉士会理事 原田美河氏	延べ55名

(5) やさしい日本語講座の開催

市町村の窓口担当者向や、日本語教室のボランティア向けに、外国人と接する際に活用できるようにすることを目的とし、外国人に必要な情報をやさしい日本語でわかりやすく伝えるスキルを学ぶ講座を、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催した。

開催日	テーマ	講師	参加者数
令和4年1月21日	わたしたちの身近な日本語を みつめなおす	愛知県立大学 外国語学部 教授 東弘子氏	延べ 99名
1月28日	相手に伝わる表現の工夫		
2月4日	もっとチャレンジ ～これからも考え続けよう～		

(6) 自分の未来を描くユース会議の開催

若者がグローバル化に対応し、将来、世界的な視野で活躍できる「グローバル人材」を目指すことを支援するため、愛知大学と連携して、「みんなで考えるLGBT SUMMIT 2022」を新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

開催にあたっては、愛知大学の学生が企画立案から運営まで携わった。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和4年3月5日	講座： ① セクシュアル・マイノリティの困難とLGBT平等法 ② ジェンダーとセクシュアリティの多様性と自由	講師： ① NPO法人PROUD LIFE 代表理事 安間優希氏 ② 愛知大学 文学部 教授 檜村愛子氏	16名

(7) ボランティア登録制度の運営・活用

県民参加による国際交流等を推進するため、ボランティアの募集・登録を行い、積極的活用を図った。

【ボランティア登録者数】 (令和4年3月31日現在)

ボランティアの区分	登録者数(延べ)
語学ボランティア (21言語)	289名
ホームステイ・ホームビジットボランティア	69名
サポートボランティア	196名
合計	554名

【ボランティアの活動】

区 分	内 容	活動者数(延べ)
語学(通訳)	多文化共生サポート事業 (通訳依頼) 始め6件	6名
語学(翻訳)	尾張旭市 ごみの出し方 始め7件	7名
サポ ー ト	あいち国際プラザ日本語教室 始め3件	955名

(8) プラザにほん語教室の開催

日本語ボランティア入門講座修了生の実地研修の場として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで日本語教室を開催し、外国人の日本語学習支援を行った。

開催期間	曜日及び時間	ボランティア数	学習者数
第1期 5～6月	火曜日13:30～15:00	55名	47名
第2期 9～11月	金曜日13:30～15:00、19:00～20:30 土曜日10:30～12:00、14:00～15:30		30名
第3期 1～3月	※第1期は金曜日午後と土曜日午前のみ、 第2期は金曜日夜間以外開催		33名

(9) 先進的な日本語教育の取組等による日本語教室への支援

地域のモデルとなりうる日本語教室活動を実施し、得られた成果やノウハウを広く発信することを目的に、日本語教室で活動しているボランティアを対象に、日本語がほとんど話せない外国人への日本語指導講座と、そのような外国人に実際に日本語指導を行う講座を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催した。

また、県内の日本語教室の活動を調査し、一覧表を作成するとともに、ウェブサイトの検索ページに掲載した。さらには、特徴ある取組や教え方を行う日本語教室を訪問し、その活動をウェブサイトで公開した。

事業名	開催日	テーマ	参加者数
はじめての日本語 ～きいてみよう！は なしてみよう！～	令和4年1月19日・ 26日、2月2日・9日	「自己紹介・出身地」等	延べ50名
「初めて習う日本 語」の教え方	令和4年3月3日・ 10日・17日・24日	「Can-do statements を使 った教室活動」等	延べ107名

(10) 防災ボランティア研修会の実施

災害発生時には、当協会のあいち多文化共生センターに対する相談が集中することが予想されることから、相談対応や災害時のセンター運営等に協力していただくボランティア向けの研修を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和4年2月24日	「通訳者の目から見た災害時の外国人被災者対応」 講師： (公財) 仙台観光国際協会 国際化事業部長 須藤伸子氏 " 災害時言語ボランティア 遠藤弘望氏	18名

(11) 日本語教室で活動するボランティアの養成講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを新たに増やす取組として、日本語ボランティア初心者を対象に、心構えなどを学ぶ講座を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで開催した。

事業名	開催日	テーマ	参加者数
日本語ボランテ ィア入門講座	令和3年9月2日～ 10月28日(全8回)	「日本語ボランティアの役割」等	延べ 157名

(12) 日本語教室で活動するボランティアのスキルアップ講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを対象に、日本語教授法の更なる技術向上を目的とした講座を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで開催した。

事業名	開催日	テーマ	参加者数
日本語ボランティアスキルアップ講座	令和3年7月13日・27日	プロに学ぶ！どう教える！？～「助詞」と「条件表現」～	延べ58名

4 国際化に関する調査研究・情報提供

(1) 調査研究等の実施

当協会の目的である地域の国際交流活動及び国際協力活動の推進や、多文化共生の地域づくりの推進を計画的、継続的に取り組んでいくために平成31年3月に策定した「愛知県国際交流協会事業推進計画2023（LEAD PLAN）」について、令和3年度は中間評価を行うこととされているため、アドバイザー会議を開催し、中間評価の結果を公表した。

開催日	会議等名称	内容
令和3年11月19日	第1回アドバイザー会議	内部評価結果についての審議、助言、提言等
令和4年3月1日	第2回アドバイザー会議	中間評価結果（案）の審議

また、県内の民間国際交流団体の活動状況や、国際交流に関する基礎的情報を盛り込んだ「国際交流ハンドブック」を1,000部作成し、配布した。

(2) 国際交流協会活動推進会議の開催

国際交流の推進を図るため、県内市町国際交流協会と活動推進会議を開催し、情報交換等を行った。

開催日	会議等名称	内容	出席者
令和3年4月23日	市町村・市町国際交流協会連絡会議	「令和3年度の主要事業について」等	県内各市町村・市町国際交流協会職員
令和3年4月23日	第1回国際交流協会活動推進会議	「各協会からの提出議題について」等	県内各市町国際交流協会職員
令和3年12月9日	第2回国際交流協会活動推進会議	「令和3年度の各ブロック会議の報告」等	県内各市町国際交流協会職員

(3) インターネット等を活用した情報の提供

ホームページ（通称i-net）を作成し、国際交流に関する各種情報を日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、韓国語で、あいち多文化共生センターに関する情報を上記言語に加え、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語で提供した。また、機関誌を作成し、協会の活動内容や国際交流関係情報等の広報を行った。

機関誌名	発行回数	発行時期	部数	配布先
あいち国際プラザ	6回	奇数月	各10,000部	協会賛助会員、民間国際交流団体、市町村・協会など

(4) 図書コーナーでの情報・資料の提供

国際交流に関する様々な図書・資料を収集し、図書コーナーにおいて貸出又は閲覧に供した。

また、近年アジア系の外国人が増加していることからアジア系の図書を充実させた。

なお、新聞・雑誌コーナー及びビデオコーナーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用を休止している。

区 分	図書コーナー	新聞・雑誌、 ビデオコーナー	貸出冊数
利用者数等	3,081名	0名	880冊

(5) 市町村・市町国際交流協会及び民間国際交流団体等への支援

県内における幅広い国際交流の推進を図るため、国際交流団体等の行う国際交流に関する行催事に対し、共催、後援、補助金の交付など、積極的な支援を行うとともに、民間国際交流団体を支援するため、団体の行う各種行事の打合わせ、準備作業及び団体間の情報交換等の場として国際交流団体交流室を提供した。

さらに、民間国際交流団体等との共催で講座やワークショップ、パネル展等を開催し、外国文化や時事問題について理解を深めるための事業を実施した。

【後援事業及び補助事業】

区分	内 容
後援事業	成功事例から学ぶ留学生採用と活動方法 始め9件
補助事業	国際フェスティバルin愛知 始め17件 (うち5件が新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

【民間国際交流団体との共催】

共催団体	内 容
名古屋アリアナ平和基金始め3団体	「2021年度写真展《アフガニスタン・イスラム共和国と日本の国交樹立90年を記念して》」始め3事業

(6) 国際交流推進功労者の表彰

国際交流や多文化共生の地域づくりの推進に顕著な功績のある個人・団体を表彰した。

開催日	表彰の種類	被表彰者数
令和3年11月17日	会長表彰	3名 3団体

(7) ブラジル・アルゼンチン愛知県人会との連携・支援

海外移住先国のブラジル・アルゼンチン愛知県人会を通じて、移住者の自立支援のための相談等を行うとともに、日本にいる移住者の家族に対して情報提供を行った。

(8) 災害時における事業の実施

災害時に、外国人被災者を直接支援する県内市町村に対し、情報提供や通訳・翻訳などの言語面での支援をするために愛知県が設置し、県と協会が共同で運営する「愛知県災害多言語支援センター」について、県、市町村と共同で訓練や研修を実施した。

決算報告

貸借対照表

令和4年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	22,023,215	23,828,029	△1,804,814
未収金	168,726	325,543	△156,817
前払金	39,700	41,250	△1,550
流動資産合計	22,231,641	24,194,822	△1,963,181
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0
基本財産合計	314,595,000	314,595,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	29,338,417	26,585,329	2,753,088
国際貢献支援事業特定資産	1,834,977	1,835,180	△203
日本語学習支援基金事業特定資産	7,009,083	29,301,093	△22,292,010
特定資産合計	38,182,477	57,721,602	△19,539,125
(3) その他の固定資産			
什器備品	2,012,938	2,611,377	△598,439
ソフトウェア	202,664	0	202,664
電話加入権	1,148,040	1,148,040	0
その他の固定資産合計	3,363,642	3,759,417	△395,775
固定資産合計	356,141,119	376,076,019	△19,934,900
資 産 合 計	378,372,760	400,270,841	△21,898,081
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	21,277,830	23,586,073	△2,308,243
預り金	532,226	404,164	128,062
前受金	254,000	9,000	245,000
流動負債合計	22,064,056	23,999,237	△1,935,181
2 固定負債			
退職給付引当金	29,338,417	26,585,329	2,753,088
固定負債合計	29,338,417	26,585,329	2,753,088
負 債 合 計	51,402,473	50,584,566	817,907
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	323,439,060	345,731,273	△22,292,213
指定正味財産合計	323,439,060	345,731,273	△22,292,213
(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(314,595,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(8,844,060)	(31,136,273)	(△22,292,213)
2 一般正味財産	3,531,227	3,955,002	△423,775
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	326,970,287	349,686,275	△22,715,988
負債及び正味財産合計	378,372,760	400,270,841	△21,898,081

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	19,282,365	2,740,850		22,023,215
未収金	168,726	0		168,726
前払金	39,700	0		39,700
流動資産合計	19,490,791	2,740,850		22,231,641
2 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	0		314,595,000
基本財産合計	314,595,000	0		314,595,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	29,338,417		29,338,417
国際貢献支援事業特定資産	1,834,977	0		1,834,977
日本語学習支援基金事業特定資産	7,009,083	0		7,009,083
特定資産合計	8,844,060	29,338,417		38,182,477
(3) その他の固定資産				
什器備品	2,012,938	0		2,012,938
ソフトウェア	202,664	0		202,664
電話加入権	1,148,040	0		1,148,040
その他の固定資産合計	3,363,642	0		3,363,642
固定資産合計	326,802,702	29,338,417		356,141,119
資 産 合 計	346,293,493	32,079,267		378,372,760
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	18,804,513	2,473,317		21,277,830
預り金	24,426	507,800		532,226
前受金	245,000	9,000		254,000
流動負債合計	19,073,939	2,990,117		22,064,056
2 固定負債				
退職給付引当金	0	29,338,417		29,338,417
固定負債合計	0	29,338,417		29,338,417
負 債 合 計	19,073,939	32,328,534		51,402,473
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
寄付金	323,439,060	0		323,439,060
指定正味財産合計	323,439,060	0		323,439,060
(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(0)		(314,595,000)
(うち特定資産への充当額)	(8,844,060)	(0)		(8,844,060)
2 一般正味財産	3,531,227	(0)		3,531,227
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	326,970,287	0		326,970,287
負債及び正味財産合計	346,044,226	32,328,534		378,372,760

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,245,854	2,117,126	128,728
基本財産受取利息	2,245,854	2,117,126	128,728
特定資産運用益	17	18	△ 1
特定資産受取利息	17	18	△ 1
受取会費	2,892,000	2,902,000	△ 10,000
受取会費	2,892,000	2,902,000	△ 10,000
事業収益	30,000	30,000	0
広告料収入	30,000	30,000	0
受取補助金等	157,886,259	151,573,109	6,313,150
県補助金	157,886,259	151,573,109	6,313,150
受取寄付金	22,592,213	24,752,673	△ 2,160,460
受取寄付金等振替額	22,592,213	24,752,673	△ 2,160,460
雑収益	733,745	849,690	△ 115,945
受取利息	532	2,257	△ 1,725
雑収益	733,213	847,433	△ 114,220
経常収益計	186,380,088	182,224,616	4,155,472
(2) 経常費用			
事業費	154,328,274	148,212,506	6,115,768
報酬	32,863,574	30,044,043	2,819,531
給料手当	57,795,294	53,636,793	4,158,501
福利厚生費	14,600,909	13,621,509	979,400
旅費交通費	2,828,521	2,572,885	255,636
役務費	10,799,698	9,647,201	1,152,497
減価償却費	810,915	742,392	68,523
消耗什器備品費	486,648	1,081,309	△ 594,661
需用費	5,542,099	5,663,121	△ 121,022
使用料及び賃借料	2,451,546	3,015,690	△ 564,144
諸謝金	2,338,480	2,252,200	86,280
租税公課	6,800	5,800	1,000
支払負担金	1,787,580	1,811,820	△ 24,240
支払助成金	19,490,360	21,094,643	△ 1,604,283
委託費	2,525,850	3,018,100	△ 492,250
雑費	0	5,000	△ 5,000

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	32,475,589	33,864,917	△ 1,389,328
報酬	1,951,200	1,882,800	68,400
役員報酬	505,400	617,330	△ 111,930
給料手当	16,907,234	17,036,877	△ 129,643
退職給付費用	2,753,088	3,875,640	△ 1,122,552
福利厚生費	3,622,899	3,661,920	△ 39,021
旅費交通費	180,230	206,760	△ 26,530
役務費	0	649,540	△ 649,540
需用費	28,984	2,300	26,684
光熱水料費	6,442,486	5,851,578	590,908
保険料	40,390	34,920	5,470
雑費	43,678	45,252	△ 1,574
経常費用計	186,803,863	182,077,423	4,726,440
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 423,775	147,193	△ 570,968
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 423,775	147,193	△ 570,968
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	34,003	△ 34,003
経常外費用計	0	34,003	△ 34,003
当期経常外増減額	0	△ 34,003	34,003
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 423,775	113,190	△ 536,965
一般正味財産期首残高	3,955,002	3,841,812	113,190
一般正味財産期末残高	3,531,227	3,955,002	△ 423,775
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	300,000	900,000	△ 600,000
基本財産受取利息	2,245,854	2,117,126	128,728
特定資産受取利息	17	18	△ 1
一般正味財産への振替額	△ 24,838,084	△ 26,869,817	2,031,733
当期指定正味財産増減額	△ 22,292,213	△ 23,852,673	1,560,460
指定正味財産期首残高	345,731,273	369,583,946	△ 23,852,673
指定正味財産期末残高	323,439,060	345,731,273	△ 22,292,213
III 正味財産期末残高	326,970,287	349,686,275	△ 22,715,988

正味財産増減計算書内訳書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引 消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	2,245,854	2,245,854	0		2,245,854
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,245,854	2,245,854	0		2,245,854
特定資産運用益	17	0	0	0	0	17	0		17
特定資産受取利息	17	0	0	0	0	17	0		17
受取会費	0	0	0	0	1,446,000	1,446,000	1,446,000		2,892,000
受取会費	0	0	0	0	1,446,000	1,446,000	1,446,000		2,892,000
事業収益	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
広告料収入	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
受取補助金等	19,814,314	57,344,165	17,086,314	26,791,047	6,341,751	127,377,591	30,508,668		157,886,259
県補助金	19,814,314	57,344,165	17,086,314	26,791,047	6,341,751	127,377,591	30,508,668		157,886,259
受取寄付金	203	22,592,010	0	0	0	22,592,213	0		22,592,213
受取寄付金等振替額	203	22,592,010	0	0	0	22,592,213	0		22,592,213
雑収益	112,280	100,544	0	0	0	212,824	520,921		733,745
受取利息	0	0	0	0	0	0	532		532
雑収益	112,280	100,544	0	0	0	212,824	520,389		733,213
経常収益計	19,926,814	80,036,719	17,086,314	26,821,047	10,033,605	153,904,499	32,475,589		186,380,088
(2) 経常費用									
事業費	21,974,562	80,064,719	18,350,819	26,821,047	7,117,127	154,328,274	0		154,328,274
報酬	27,840	24,633,096	2,295,600	4,685,281	1,221,757	32,863,574	0		32,863,574
給料手当	15,614,743	19,866,370	12,069,311	10,244,870	0	57,795,294	0		57,795,294
福利厚生費	3,236,185	6,506,529	2,260,097	2,598,098	0	14,600,909	0		14,600,909
旅費交通費	154,730	1,931,492	189,210	409,497	143,592	2,828,521	0		2,828,521
役務費	749,667	4,824,334	391,441	3,249,853	1,584,403	10,799,698	0		10,799,698
減価償却費	0	0	0	0	810,915	810,915	0		810,915
消耗什器備品費	0	0	0	287,988	198,660	486,648	0		486,648
需用費	97,397	2,124,308	167,760	1,727,154	1,425,480	5,542,099	0		5,542,099
使用料及び賃借料	12,200	70,130	0	1,910,226	458,990	2,451,546	0		2,451,546
諸謝金	581,800	649,200	977,400	130,080	0	2,338,480	0		2,338,480
租税公課	0	2,000	0	0	4,800	6,800	0		6,800
支払負担金	1,500,000	37,100	0	0	250,480	1,787,580	0		1,787,580
支払助成金	0	18,718,360	0	772,000	0	19,490,360	0		19,490,360
委託費	0	701,800	0	806,000	1,018,050	2,525,850	0		2,525,850

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引 消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
管理費							32,475,589		32,475,589
報酬							1,951,200		1,951,200
役員報酬							505,400		505,400
給料手当							16,907,234		16,907,234
退職給付費用							2,753,088		2,753,088
福利厚生費							3,622,899		3,622,899
旅費交通費							180,230		180,230
役務費							0		0
需用費							28,984		28,984
光熱水料費							6,442,486		6,442,486
保険料							40,390		40,390
雑費							43,678		43,678
経常費用計	21,974,562	80,064,719	18,350,819	26,821,047	7,117,127	154,328,274	32,475,589		186,803,863
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,047,748	△ 28,000	△ 1,264,505	0	2,916,478	△ 423,775	0		△ 423,775
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 2,047,748	△ 28,000	△ 1,264,505	0	2,916,478	△ 423,775	0		△ 423,775
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,047,748	△ 28,000	△ 1,264,505	0	2,916,478	△ 423,775	0		△ 423,775
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	3,955,002	-		3,955,002
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	3,531,227	-		3,531,227
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金	0	300,000	0	0	0	300,000	0		300,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,245,854	2,245,854	0		2,245,854
特定資産受取利息	17	0	0	0	0	17	0		17
一般正味財産への振替額	△ 220	△ 22,592,010	0	0	△ 2,245,854	△ 24,838,084	0		△ 24,838,084
当期指定正味財産増減額	△ 203	△ 22,292,010	0	0	0	△ 22,292,213	0		△ 22,292,213
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	345,731,273	-		345,731,273
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	323,439,060	-		323,439,060
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	326,970,287	-		326,970,287

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

なお、取得価格と債券金額との差額について重要性が乏しい満期保有目的の債券については、適用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法について

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金には、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計基準について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	2,245,854	2,245,854	314,595,000
小 計	314,595,000	2,245,854	2,245,854	314,595,000
特定資産				
退職給付引当資産	26,585,329	2,753,088		29,338,417
国際貢献支援事業特定資産	1,835,180	17	220	1,834,977
日本語学習支援基金事業特定資産	29,301,093	300,000	22,592,010	7,009,083
小 計	57,721,602	3,053,105	22,592,230	38,182,477
合 計	372,316,602	5,298,959	24,838,084	352,777,477

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0	-
小 計	314,595,000	314,595,000	0	-
特定資産				
退職給付引当資産	29,338,417	-	-	29,338,417
国際貢献支援事業特定資産	1,834,977	1,834,977	0	-
日本語学習支援基金事業特定資産	7,009,083	7,009,083	0	-
小 計	38,182,477	8,844,060	0	29,338,417
合 計	352,777,477	323,439,060	0	29,338,417

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	22,579,389	20,566,451	2,012,938
ソフトウェア	217,140	14,476	202,664
電話加入権	1,148,040	0	1,148,040
合 計	23,944,569	20,580,927	3,363,642

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
愛知県債	100,000,000	101,120,000	1,120,000
大阪市債	100,000,000	93,340,000	△6,660,000
利付国債	9,990,800	9,592,000	△398,800
堺市債	100,000,000	92,889,200	△7,110,800
大阪府債	4,492,125	4,523,697	31,572
合 計	314,482,925	301,464,897	△13,018,028

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和3年度愛知県国際交流協会運営費補助金	愛知県	0	157,886,259	157,886,259	0	-
合 計		0	157,886,259	157,886,259	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,245,854
特定資産受取利息の振替額	17
国際貢献支援事業の実施による振替額	203
日本語学習支援基金事業の実施による振替額	22,592,010
合 計	24,838,084

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため省略。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	26,585,329	2,753,088	0	0	29,338,417

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金	0
預金	普通預金		
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	運転資金	22,023,215
未収金	県内市町国際交流協会	雇用保険料等	168,726
前払金	愛知県社会福祉協議会	ボランティア活動保険	39,700
流動資産合計			22,231,641
(固定資産)			
基本財産			
投資有価証券	愛知県債 (みずほ証券)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用。	100,000,000
	大阪市債 (大和証券)		100,000,000
	利付国債 (大和証券)		9,990,800
	堺市債 (野村証券)		100,000,000
	大阪府債 (野村証券)		4,492,125
預金	定期預金		
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		112,075
特定資産			
退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金の支払いに備えた積立資産。	29,338,417
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		
国際貢献支援事業 特定資産	普通預金	公益目的保有財産であり、国際貢献支援事業に使用。	1,834,977
	三井住友信託銀行名古屋営業部		
日本語学習支援基金事業 特定資産	普通預金	公益目的保有財産であり、日本語学習支援基金事業に使用。	7,009,083
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		
その他の固定資産			
什器備品	スチールパーティション他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	2,012,938
ソフトウェア	Microsoft Office	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	202,664
電話加入権	電話加入権	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	1,148,040
固定資産合計			356,141,119
資産合計			378,372,760
(流動負債)			
未払金	事業実施等に対する未払額		21,277,830
預り金	住民税ほか	住民税等の預り金	532,226
前受金	賛助会費、日本語学習支援基金寄付	賛助会費の前受金等	254,000
流動負債合計			22,064,056
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備えたもの。	29,338,417
固定負債合計			29,338,417
負債合計			51,402,473
正味財産			326,970,287

監 事 の 意 見 書

公益財団法人愛知県国際交流協会定款第8条第1項の規定に基づき、
令和3年度事業報告及び決算報告について監査しましたところ、適正に
執行されていることを認めます。

令和4年6月2日

監 事 相 津 晴 洋 ⑩

監 事 宇 佐 見 比 呂 志 ⑩